

## 防災意識が高いまちに向けた地域の防災の取組(イメージ) たたき台

防災・減災の取組	めざす状態	めざす状態に向けた課題・取組	ステージ1	ステージ2	ステージ3
4-1-1 【区民の防災・減災の意識向上】	地域住民の防災・減災意識が高まり、自助の取り組みが促進されている	(1) これまで地域防災活動に関わりの薄かった住民の参加促進	①地域の防災訓練等のチラシなどの作成を工夫している。 ②防災活動(案内や実施報告等)を地域の広報紙、回覧板や掲示板などに掲載し、周知している。	③防災訓練等の機会を通じて自助・共助の意識を高め、町会加入の促進を図っている。 ④防災訓練への参加の呼びかけをICT(SNSなど多様な媒体の活用)を活用したり、さまざまな活動主体間で連携・協働したりしている。	⑤地域防災活動に関わりの薄かった住民が参加し、防災におけるつながりの重要性を実感してもらえるような取組を工夫して実施している。
		(2) 小・中学生の防災・減災意識の向上	①学校における避難訓練等において、地域が関わっている。	②学校と地域とが連携して防災訓練等を実施できている。	③地域の災害特性を踏まえた地域ぐるみの防災・減災の取組を推進できている。
4-1-2 【地域防災・減災力の向上】	地域住民の防災・減災意識が高まり、地域主体の共助を基本とした取り組みが促進されている	(3) 地域特性を踏まえた防災活動の実施	①地域特性や防災課題の把握ができている。	②、③地域特性や防災課題に対応するための防災活動を実施できている。	④効果検証を行いながら、防災訓練の取組を継続的(毎年1回以上)に効果的に行っている。  ⑥避難支援のしくみづくりによる防災訓練を行っている。
		(4) 自主防災組織(地域活動協議会)による防災活動の促進	①地域で防災学習会(基礎知識、図上訓練、避難所運営学習)が実施できている。 ②地域で防災訓練(避難訓練、避難所開設訓練)が実施できている。	③区役所と地域と福祉避難所・区医師会が連携して防災訓練を実施できている。	
		(5) 地域間の連携・協働	①小学校下での避難所開設運営訓練が実施できている。 ②中学校下の地域間で防災に関する意見交換ができている。	③中学校下での防災訓練が実施できている。	
		(6) 災害時における避難行動要支援者への支援	①地域で避難行動要支援者の把握ができている。 ②災害時の避難支援につながる地域での見守りができている。 ③避難行動要支援者に関する学習会や訓練が実施できている。	④地域住民と避難行動要支援者が共に防災訓練に参加している。 ⑤地域において避難支援のしくみづくりができている。	
		(7) 大学、企業等との連携・協働	①企業が地域活動協議会に参画する機会が保障されている。 ②大阪成蹊大学と地域とが連携して防災活動が実施できている。 ③大阪経済大学と地域とが連携して防災活動が実施できている。	④企業の参画により、新たな取組や連携・協働ができている。 ⑤大学との連携による地域との防災連携・協働ができている。	
		(8) 防災訓練に参加するなど、自らの活動が実際に地域防災活動に寄与していると感じる防災リーダーの割合:70%	①地域防災リーダーが災害発生時に活動するための訓練(消火器、可搬式ポンプ等による消火活動、救出・救護活動)を実施できている。	②地域住民が安全に避難できるように、災害時避難所への誘導訓練等が実施できている。	
					③地域防災リーダーとして地域の防災活動に参画し、地域住民の中心的存在として防災活動の役割が果たせている。